

平成 26 年度 第 2 回成田市学校給食センター運営委員会議事録

- 1 日 時 平成 26 年 12 月 18 日（木）午前 10 時 30 分から
- 2 場 所 本城小学校学校給食共同調理場 2 階食育ルーム
- 3 出席者 1 号委員 渡邊委員・金山委員
2 号委員 根本委員・櫻井委員
3 号委員 京増委員・中村委員
事務局 関川教育長・深山部長・後藤所長・窺係長・金城栄養士
- 4 議題 1. 学校給食施設の整備計画について
2. 食物アレルギー対応マニュアルの内容について
3. 給食費について

5 議事（要旨、質疑）

議題 1. 学校給食施設の整備計画について

現在の計画は平成 22 年度に策定したのですが、計画策定後、共同調理場の整備を予定していた吾妻小学校では、児童数の増加により校舎が増築され、建設敷地が手狭になって調理場の整備が困難になっています。

また、現在の整備計画を策定した後に発生した東日本大震災においては、西中学校や隣接している加良部小学校には、大勢の近隣住民が避難してきた経緯もあることから、ニュータウン地区の中心にある広い学校敷地を、災害時も含めて多目的に活用するために確保することの重要性を認識しました。

これらのことから、親子方式の学校の再組合せの検討を行ってきました。

検討については、当初計画でめざしていた食育など、子供への対応が後退しないかを重視しました。

小学校では、「きめ細かいアレルギー食の対応」と「あたたかい給食の提供」、「食育の推進」を重視し、調理風景を身近に感じられるように親子方式での整備としました。

また、現在の玉造の給食センター用地を活用することも検討項目であったため、成田ニュータウン周辺の中学校給食については、玉造のセンター用地に今後新たに少し大きめの共同調理場を整備し、施設の中に食育エリアなどを充実させていくこととしました。

この見直し案については、12月議会の教育民生常任委員会において報告しました。今後は、来年1月にパブリックコメントを実施し、3月議会に改めて報告することを説明しました。

委員 配送時間については、多少長くかかるようなことはないのか。

事務局 小学校については、組合せは変わりますが、これまでどおりの（配送校は2～3校程度の）親子方式で進めていくのでほぼ同じ程度の時間と考えます。

中学校についても、ニュータウン内の中学校と近隣の成田中学校で、各学校までの距離が近いことから、大きな時間の延長はないと考えます。

教育長 本来であればもっと細かく施設を整備していきたいところですが、経費の問題もあります。既に整備した共同調理場でも、当初見積った経費よりも多くかかっているところです。市の内部でも、給食施設を多く整備することには慎重な意見もありますが、教育委員会としましては、少なくとも

小学生には、食育ルームを作った給食施設を、学校の中に整え、子どもたちにどうしても見せてあげたいという強い思いがあります。それが、この施設整備計画の一番のもとにありましたので、せめて小学生だけにはという思いがありますので、小学校には親子方式で整備をしていきます。

中学生については、成田中学校はニュータウン内ではないですが、近くであり、他は全てニュータウン内で、玉造のセンターから遠くない距離にありますので、新たに建替えた新しい給食施設で、充実した給食を提供できるセンター方式でもよいのではないかと考えます。

また、先ほど説明の中で出た西中学校や加良部小学校については、仮に大規模災害が再び起こった際には、避難して来た方への避難所の設置など多様な活用方法が可能な広い公共敷地を、ニュータウンの中心である所に確保し残しておいた方がよいのではないかとということも、整備を進めることとは逆の面ですが話し合ってきました。

このことから、給食施設をつくると、面積が狭められますので、もし玉造の新たなセンターから給食を提供することに了承がいただけるならば、西中学校の敷地などはそのまま残しておいた方がいいのではないかと、ということを考えています。

議題2. 食物アレルギー対応マニュアルの内容について

事務局 食物アレルギー対応マニュアルについては、昨年度から審議いただき今年度から運用を開始しています。今回、見直しを考えたところは、本城小学校から配食する学校で、アレルギー除去食の希望があったため、保護者

や学校、栄養士などと除去食提供について、面談などを通じて協議を行ってきました。

その中で、マニュアルの規定では、卵と乳のみの除去となっていますが、今回のケースでは、卵と乳に加えてピーナツのアレルゲンをお持ちのお子さんでした。現在は、1ヵ月のうち約20日（回）ほどの日にちの給食を配食していますが、そのうち約1回か2回しかピーナツが含まれる日はないところです。しかし、今回の協議の中で保護者側は、1ヵ月のうち20日（回）全てで、除去食の提供を受け、ピーナツが含まれる献立の日は、子ども自身が自ら除去することを考えていました。といいますのも、現在は普通の給食を受けており、調理場から送られるアレルギー献立表などに基づいて、子どもさん自らが卵の日には、自ら除去を行って食べています。給食センターの立場としましては、アレルギー除去食として提供する以上は、完全に安全安心な給食として提供したいと考え、ピーナツが入った日の給食（除去食）は提供しないで、お弁当を持参するというを考えていますが、保護者としましては、今まで全ての日に普通の給食で提供を受けていたのが、除去食の提供を受け始めると、弁当対応の日が出てきてしまい、後退する部分も出てきてしまいます。

もうひとつのケースでも、卵と乳の他に、小麦のアレルゲンを持っているお子さんもあり、こちらも通常の給食の提供を受け、自分で除去しながら食べています。今日の議論の中では、除去食の個別容器の中から、さらに自分で除去することの対応でよいのか、ご意見を頂きたいと思っています。よろしく願いいたします。

委員 今現在はどうしているのか。

事務局 当初は卵と乳のみのアレルギーという診断が出ていましたので、12月からの提供で準備を進めてきましたが、11月に入り、医師の診断の中で、ピーナッツについても気を付けた方がいいという内容がでましたので、そういった事情から現在は除去食の提供は見合わせています。

委員 今回のケースでは、2人とも卵と乳については、アレルギーがあるという事ですか。

事務局 そうです。1人は卵と乳に加えてピーナッツ、もう1人は卵に加えて小麦のアレルギーを持っています。

委員 新たに除去の項目を増やしていくのは現実には難しいと思う。今の現状では、卵と乳については対応が可能なので、これは当然やってあげるべきだと思います。但し、ピーナッツの除去食を特別にやると、そういう事例が次から次へと出てくることから対応が出来なくなるわけで、卵と乳の除去食については問題がないと思います。しかし、ピーナッツについては、自分で除去しているということですが、どこまで除去できているのか。もしかしたら、ピーナッツのアレルギーがそれほど激しいアレルギーではなく、軽いアレルギーなのかもしれませんが、量が増えれば、じんましんとかが出てくるので、微量であれば問題はないのかと思います。ただ、だからと言って安全とは言えませんので、ピーナッツ関係の入っている食事の時は、お弁当を持ってきてもらうことで、それ以外の時は、アレルギー対応食ということだけでも、親御さんに行ってみれば、大変助かるんじゃないかなと思います。

ただ、小麦のケースについては、大変ですね。いろんな食品にかなり含まれますよね。

栄養士 主食関係は、揚げ物であったり、練り物であったりとどうしても多くなります。また醤油は関係ないと思われるかもしれませんが、醤油には一応小麦と書かれていますので、そうなると和食関係は含まれてしまうので、厳しいのかなと思います。

事務局 今回のケースのお子さんは、負荷試験として少しずつ食べる訓練をしているということですので、状況が変われば、卵の除去食として提供できるようになるとも考えられます。

委員 子どもの年齢によっても違ってくると思います。小学校1、2年生と中学生とでは身体的にも、本人の理解力も変わっていますし、子ども自身の責任において、選別させるということは、やはりさせてはいけないと思います。調布の件のように、チジミの中にアレルギーが入っているかどうかは、子どもには分からないことだと思います。確かに献立表には書いてあるかもしれませんが、日々の生活の中で、献立表を見て、食事を確認できるかというと、子どもに責任を負わせることはできませんので、やはりアレルギーが混じっているもの（時）は駄目だということの方が、責任の所在がはっきりすると思います。

議題3. 給食費について

事務局 本市の給食費については、平成16年度以降10年以上、消費税の増税分以外に給食費の値上げを行っておりません。

その間、特に近年は食材価格の上昇傾向が続いており、各調理場の栄養士が献立内容の工夫や、新鮮でなるべく安い食材を使用するなどの努力をして給食を提供しており、厳しい状況が続いています。

国においては、消費税の税率 8%から 10%への改定が 1 年半先送りされたこともあり、給食センターとしましては、来年度に給食費の改定作業を行い、再来年の 4 月から給食費を値上げしたいと考えております。なお、具体的な値上げの金額につきましては、今後検討してまいります。

栄養士 過去の資料ですが、平成 18 年度の牛乳の価格は 1 本当たり 37.67 円で約 38 円でしたが、今年度は約 47 円となっており、8 年間で約 10 円の値上がりとなっています。これには、8%の消費税分が入っていませんので、実際はその分も含めて、さらに上乗せされた金額になると思われまます。

精白米については、その年の出来高になるので、大きな変化はないと思います。パンも約 11 円ほど値上がりが起きています。一番ここで大きいのがお肉関係です。牛肉は、頻度も少なく、これまで価格の変動はなかったのですが、鶏肉と豚肉は、1 キロ当たり、昨年度の 4 月に比べて一番使う食材で約 270 円、豚肉の方が約 300 円ないし 400 円近く、値上がりしています。これはかなり使う頻度が高いので、平成 26 年度は消費税の分は上げてもらいましたが、現場はかなり厳しいところです。また、昨年度あたりから、デザート回数が減ってきたよね、という話や声が、児童生徒や教員の方からも聞くことがあります。といいますのも、おかず、主菜の方を減らすわけにはいきませんので、デザートの方を週 2、3 回あったのを、最低でも週 2 回は入れましょうということで、献立をたてていますので、目に

見えてデザート回数が少なくなっているのかな、と思われます。給食費は1年間を通じて予算が決められていますので、1回あたりが240円ないし270円で食べています。実際には、192回給食は実施しているんですけども、どうしても各学校で運動会であったり校外学習であったりと喫食していない日もありますので、その分ちょっと上乗せできる部分があるにしても、やはり実際には厳しいのかな、というのがあります。特に野菜は、今年の10月に大きな台風が来ましたので、時期的に本来であれば値下がりしてくるものが、3倍くらいの値段であがってきたりと、かなり野菜に関しては今後、冬ですと雪の関係で年末などに大雪が降られると価格がまた上がってしまうというような、かなり予測できない部分もあるのかな、と思います。そうしますと、やはり一番削りやすいデザート関係が削られてしまうのかな、と思います。しかし、子どもたちが楽しみにしていますので、なるべく加えられるようにしていきたいと思っています。また、魚は、獲れる場所とか加工地とか色々ありますので、例えば、同じブリにしても、ブリは高いのですが、その下のイナダとかは少し安くなりますので、やはり安い魚を選ぶしかない時もあります。美味しい魚だと高くてもいいもの、こちらが美味しいかな、というものだと試食率が高いので、残菜にも響いてくるのかなと思います。いずれにしても、子どもたちには、いいものを食べさせてあげたいという思いがあります。それともう一点で、出来るだけ国産を使うようにということで、やはり加工地なり産地を選んでくると、価格の問題もあり、どうしても難しい部分があります。国産と外国産を比較すると、どうしても国産の方が高いのかな、というのがありますので、

そのへんも含めると、今の現状はギリギリのところだと思います。

また、玉造のセンターは、母体が大きいので、食材業者さんの方も価格を安く入れてくれることがあります。また、他の（玉造以外の）施設についてのデータは集めていませんが、栄養士に聞く話ですと、やはり少し値段が高めらしいということです。同じ3キロのケチャップ缶にしても、玉造で購入するより、やはり10円ないし20円ほど高い話も聞いていますので、玉造に関しては大丈夫としても、他の施設はもっと緊迫した状態なのかな、というのはあります。そういう中でも、やはり栄養士が献立を工夫して提供してくれているということはありません。

委員 子どもの口に入るものなので、消費税が上がったから食材もということではなく、ちゃんと消費税が上がった分がこのくらいで、食材の値上がりとの関係でこのくらい上げたんです、ということの理由を説明すれば、理解が得られると思います。

委員 他の人からは、成田市の給食費は安いよね、という話を聞きます。日数もそれなりに多く提供してくれていると思います。休み（夏休みや冬休みなど）の前日まで、給食を提供していただき、親にとってはとても助かるし有りがたいと思います。他の市町などは、休みの2日前とか結構早くから給食がストップ（終了）していますので、子どもたちは、お昼で帰ってきてしまうこともあって、そういうことから（成田市の給食は）非常に有りがたいと思っています。

委員 私の勤めている地域は、農家の方がたくさんいて、よくPTAの人たちと色々な話をすると、安全で安心な食材を（給食の食材として）提供した

いといいます。特に大栄地区は、5つの小学校区の誰々さんちの食材を使っていますとか、そういうことが献立表に書かれているので、そういうものも含めてトータル的な食育をとという思いがあります。食材の自給率といえは大きな問題になってしまいますが、そういうものも含めて子どもたちに教育すべきものだと思うので、ぜひ地元の農家とかそういうところを優遇していただいて、食材を調達してもらおうと有りがたいと思います。きっと、そういう成田市の動きは、保護者の方にも上手くアピールしていただいて、子どもたちのために教育しようとか、そういう機運を作っていただけると、値上げをするということを絡めてですけれども、有りがたいかな、と思います。

6 傍聴 なし